

# 吟道月報

NO22  
49.5.10

## 頌会

争なく通い続けました。四十二年六月に森山神社々殿に於て根岸先生の先達で奉納吟一吟、この一年無事に吟道精

### 一色支部の歩み

支部長 坂本 柱山  
理事 鈴木 笹山

風薫るよい季節となりました。会員の皆には益々和に輪を拡げ吟道に御精進の争とお喜び申し上げます。先日となたかのお話に心を燃すものを持つと云う争は年をとらないとか、せめて気持だけでもと思ひ稽古日には不障差繰つて通つて居ります。

思い返せば、昭和四十一年十二月石木さん、鈴木さんのお骨折りで一色会館に根岸清風先生をお迎えして教習を始め、守谷うめ、鈴木富美子、守谷しげ、坂木桂、鈴木徳枝、鈴木さよの八名を養足し、翌年一月に立松さん、行谷千代さんが入会、雨の晩も雪の夜も、家族から驚かれながら、ほとんど病氣以外は休む

進む来ます事を祈念し毎年の行事として以来つと続けて居ります。

四十四年には頌心会初吟会を当支部が当番で開催、一色会館に五十七名の出席を得て盛會裡に催しました。翌四十五年秋には諏訪の地藏寺に木村岳風先生の墓参に当支部から十名参加させて頂き住持から幽寂な寺の裏山から落つる滝に御身を潔めて教本の符付けをなさつた祖家範のお話を伺い今更ながら教本の一句一節にも身も引締る思いがいたしました。諏訪から帰つて尚もなく、あんなにお元氣であつた清風先生が急にお体の具合が悪わしくなく「侍遊の歌」を最後の吟に入院され、翌四十六年一月五日遂に帰らぬ人となりました。「道号清岳」に昇格されましたが、誠に惜しい先生でございました。

この年の九月に下山口教場が誕生し当会員中四名の方が移られ一色教場はツツ淋しくなりました。

きめ細かい御指導の根岸清玄先生のおと加藤秀法先生。

先の御教授を受け四十六年六月に県大会が平塚で開催されました折、合吟コンクールに「偶成」で参加し、みごと入賞。大いに気を長く致しました。之も一重に加藤先生の熱心な御指導の賜と一同感謝し、帰路童子の食堂にてささやかながら乾盃致しました。この年夏頃から先生の奥様が病氣になられた爲、加藤先生に代って三井先生、根岸晃法先生方の御指導を受けました。

その後四十八年一月に真名瀬方面からの会員が加わり二部教室が十名程で発足し、やや盛り返して参りました。只今二部と加藤先生、一部は晃法先生の御指導の下に一同張り切っております。

三月から葉山警察に教室が発足、当支部より戸谷尚山、鈴木笹山が出張土旺の午後、共に勉強する事になりました。勤務柄出席がむりので稽古中出勤命令が出て落付かない事もある程ですが永く続く事を念じて居ります。

す。

この支部は、何故か男性の会員が少なく、入会しても続きません。せめて某警との繋がりが出来たことを心強く思つて居ります。

早いもので支部発足以来八年、諸先生方のたゆまぬ御指導と感謝し一同この道を生き甲斐にさせて頂きたいと思つて居ります。

現在一部二部合わせて会員二十五名で一部月旺、二部木旺に勉強して居ります。

## 碩心会本部関係

◎ 四十九年春本許証授与式は四月二十七日(土)二〇時、遠く信用ホールで行はれ松井先生の手で各人及代表者に授与されました。

◎ 六月二十三日の詩吟学院芸風会の全国大会には、根岸晃法先生(半夜)と、堀内支部の婦人代表十名の台

吟コンクール参加が決定しました。

出吟者 中村愛風、小峰智風、関口恵山、鈴木政山、杉山雪山、大石春山、下田周山、大倉伸山、石渡朗山、矢野悦山

◎ 六月二十三日(日) 亶子市詩吟評議連盟の春季大会には、亶子支部(11名)、沼間(5名)、桜山(5名)、銀詠(5名)、建設(5名)、山の根(2名)の三十三名が参加します。会場は図書館ホール

◎ 日本詩吟学院松風会の徽章(男子襟びん、女子安全びん付襟びん)、価格約百七十円、希望者に購入配布しますから各支部母に取まとの総務まで申し出て下さい。

## 碩心会 松和支部の発足について

### 下條 拓風

萬物のすべてが、目覚しい躍動を競つるとき、皆杯

には、さだめしお元氣のことと思ひます。そして吟道の練成には、曰ごと、たゆみない情熱をかたむけていらつしやることと、心から よろこばしく、ぞんじます。

さて、茅ヶ崎飯場は、この五月ともつて独立いたし、松和支部と名づけました。碩心会の本部からは、少し遠方の茅ヶ崎市に誕生した。支部として、もうもののゆかりにちなんで(茅ヶ崎の表徴の松、松井先生、碩心会のモットーの和)松和「しよろわ」支部と命名しました。碩心会のごん下に属し、吟道をして、一般に、広く認識を、得させるためには、いさゝか、責任を感じております。

ごんごとも、皆杯から、よろしくご指導を賜るよう希望いたして居る次第であります。

役員は、 支部長 下条 拓風

副支部長 佐藤 博山

会計 佐々木 彰泉

以上です。

### 大船支部役員

大船支部は、四十九年度の発足にあたり、總會に於て左の通り役員を改選し、人事を一新しました。

新役員、支部長 松浦 城山

副支部長 岩崎 利風 (A班のみ)

会計 山口 紫山 (A班のみ)

### 会員の異動

#### 新会員

松和支部	加藤 幸太郎	茅ヶ崎市東海岸北4の11の45	電〇四六七―83―三二二五
〃	倉金 弥吉	〃 若松町六	電〇四六七―82―四六四六
大船支部	早瀬 操	鎌倉市今泉九一〇―八五	電〇四六七―44―六四七五

#### 退会役員

67	大船支部	田上洲山 (転勤)
153	建設支部	蒲名政一
265	葉警支部	磯本勝彦

### 住所変更

238	紫村	臼井照子	葉山町長坂二四七 電〇二〇三四
242	湮子	菊地園子	を 菊地園子 に訂正
249	一色	関水すみ	を 関水又ミ子に訂正